

## 2013年度冬期AP言語イメージプログラム

科目名: 海外集中言語学習(言語教育科目)

韓国語: 高麗大学

韓国語

<p>応募資格</p>	<p>本プログラムの趣旨・目的を理解し、韓国現地での学習に意欲を持って真摯に取り組む姿勢、熱心さをもつAPU学部生。APUの「韓国語」あるいは「韓国語」を履修中または単位修得済み(履修免除済み)の学生。</p>
<p>授業のねらい</p>	<p>会話、文法、聞き取り、読解など韓国現地で4週間の集中教育を受けることにより、韓国語でのコミュニケーション能力をより向上させることをねらいとする。また高麗大学での会話・聞き取り重視の授業に加え、韓国文化体験学習や現地学習を通して、言語力はもちろん、韓国の社会や文化に対してより深い関心と興味を持ち、幅広い知識を身につけることを目的とする。さらには、帰国後の持続的な韓国語学習へとつなげていくことも重要な目的である。</p>
<p>到達目標</p>	<p>現地での学習を通して、正確な発音を身につけ、各レベルで必要とされる文法知識の確立、さらには、修得した文法や語彙を実際の現場で躊躇なく使えるようになり、授業で学んださまざまな表現を必要に応じてアウトプットできるようになることを目標とする。そのためにも、授業の出席はもちろん、授業外での徹底した予習・復習を怠らず、最終試験に合格することが要求される。</p>
<p>授業方法</p>	<p>授業はすべて韓国語で行う。高麗大学韓国語文化教育センターのテキストを使用し、週2~3課ずつ学ぶ。学んだ文型と語彙に関する簡単なテストを必要に応じて随時行う。また、決められたテーマにしたがって各自韓国語によるスピーチを行う。授業の構成は、午前は、会話中心の表現に重点をおいた授業を展開をし、午後には、言語機能の訓練(聞き取り、会話、読解、作文)、発音強化、発表を中心とした授業を行う。4週目には、会話・聞き取り・作文・読解の総合試験を実施する。この他、学生交流会、韓国料理作り、伝統家屋宿泊体験、韓国ミュージカル観覧およびソウルフィールドトリップなども積極的に参加し、生きた韓国語、韓国社会、韓国文化に触れてもらう。これらすべてに出席することが要求される。</p>
<p>毎回の授業の概要</p>	<p><b>事前講義:計4回</b> 事前授業ではソウルで安全かつ有意義な4週間を過ごすために必要な知識や心構えを学ぶ。現地の基本的な生活習慣、交通、安全対策などはもちろん文化についても予め知識を持っておく事で現地での体験をより良いものにすることが狙いである。ま現地では、参加メンバーを数名のグループに分け、グループごと自由にテーマを設定しフィールドトリップを実施する予定である。そのための準備もこの事前講義で行ってもらう。</p> <p><b>事前講義の内容 (予定)</b> 第一回: 自己紹介、プログラムの概要紹介、フィールドスタディーのグループ分け 第二回: ソウルでの生活について、グループワーク 第三回: サバイバル韓国語講座 第四回: フィールドトリップに関するプレゼンテーション</p>

	<p><b>事前授業日程</b>  第1回事前授業: 11月27日(水)4限目  第2回事前授業: 12月4日(水)5限目*  第3回事前授業: 12月11日(水)4限目  第4回事前授業: 2014年1月15日(水)4限目  出発前テスト: 2014年1月15日(水)5限目  * 12/4の授業はTOEIC試験の為、5限目となります。</p> <p><b>危機管理授業</b>  2014年1月22日(水)4-5限目</p> <p><b>実習</b>  2014年2月16日(日)~3月16日(日) 4週間  日本出発日: 2014年2月16日(日)  日本帰国日: 2014年3月16日(日)  詳しい実習日程については、【別紙1】を参照。</p> <p><b>事後授業:計1回</b> イマージョン終了後、フィールドトリップの結果を各グループで発表・報告をする。日程は後日連絡。</p>
<p>成績評価方法</p>	<p>APUでの事前授業・事後授業および高麗大学での成績により評価する。評価内容は以下の通り。</p> <p>APUでの事前授業と事後授業 (20%)  高麗大学での試験 (50%)  高麗大学での出席 (20%)  高麗大学での宿題・課題物 (10%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- . 高麗大学での出席率が80%未満の場合、成績評価の対象外となる。</li> <li>- . 授業開始から15分以上が経過した場合は遅刻とみなされ、遅刻3回で、欠席1回とみなされる。</li> <li>- . 会話・聞き取り・読解・作文の各成績が50点以上、4つの項目の合算成績が平均70点以上なければならない。</li> </ul> <p>単位: 2単位 (2013秋 Semester 科目として)</p>
<p>学生への要望事項</p>	<p>遅刻、欠席をしない。予習・復習は必ずすること。決められた課題や発表を忠実にこなす。何か問題があればすぐに教員やオフィスに相談、報告する。  韓国に行く前も、行ってからも、健康状態には十分に配慮し、生活リズムに乱れがないように日ごろからセルフコントロールができるように努める。</p>
<p>テキスト</p>	<p>主教材: 高麗大学韓国語文化教育センター  『面白い韓国語2』、『面白い韓国語3』  副教材: 『面白い韓国語2 workbook』、『面白い韓国語3 workbook』</p>

参考図書	Korean Society 韓国社会を読む(曹美庚他 / 朝日出版社) Korean Culture 韓国文化を読む(曹美庚他 / 朝日出版社)
備考	
担当教員電話番号	
担当教員 E-mail アドレス	担当教員: 牧野 美希 (Makino Miki) Email : m_makino@apu.ac.jp
関連ページ	高麗大学韓国語文化教育センター: <a href="http://klcc.korea.ac.kr/main.mainList.action?langDiv=1">http://klcc.korea.ac.kr/main.mainList.action?langDiv=1</a> 駐日本国大韓民国大使館: <a href="http://jpn-tokyo.mofat.go.kr/jpn/index.jsp">http://jpn-tokyo.mofat.go.kr/jpn/index.jsp</a>